

**留学先国名** : カナダ

**留学先学校名** : Mount Allison University

**留学期間** : 平成 25 年 5 月 3 日 ~ 平成 29 年 5 月 15 日

私のカナダ大学生活の四年目は、今までと比べても本当にあっという間に過ぎていきました。私にとって四年目の秋学期のハイライトといえば、海外の日本人留学生の為の最大の就職フェアである 11 月のボストンキャリアフォーラムでした。私はそれに向けて夏休みから着々と準備を始めていき、学期が忙しくなる前の 9 月中に興味のある企業にどんどん事前応募をしていきました。事前応募の書類が通れば多くの企業がスカイプでの面接をしてくれるのですが、面接の練習や企業研究など準備に時間を要することが多いので、授業の課題をやりながら一から就活準備を進めるとなるとかなりしんどかったです。去年の秋は四年生ということもあり普段より一層忙しかったのですが、今となっては早めに準備をして本当によかったと思います。おかげでボスキャリで第一志望の企業に内定を頂くことができました。私の大学の友達も、事前応募や準備をしっかりした人はみんな内定が出ていたように思います。

ボストンキャリアフォーラムに参加する予定の皆さん、ここで私から 1 つアドバイスですが、ボスキャリは本当に事前準備が命で、また企業によっては事前応募をしていない学生は受け付けてくれないところも多いので、絶対に早めに事前応募をしたり、夏休みの間に面接の練習やレジュメを準備したりすることをお勧めします。

そんな風に秋学期はあっという間に過ぎていき、早くも大学生生活残り一学期となりました。冬学期も秋学期同様に忙しく、無事に就活も終わったということもあり、主にインターンと女性ジェンダー学の TA をやっていました。インターンでは地元の町役場の観光課でリサーチ、聞き込み調査、資料作成、データ入力などたくさんを経験させてもらいました。日本で就職することが決まっていたので、最後にカナダでの働き方を体験できたことはとてもよい思い出になりました。余談ですが、カナダでは共働きの家庭が多く、私のインターン先でも夫婦二人で家事や育児を助け合っている方が多く、日本でもこれが一般的になれば仕事をしている女性の負担がかなり減るのになあと感じました。私は大学で社会学を専攻、そして女性ジェンダー学を副専攻にしていたので、その辺の日本との違いを肌で感じる事ができたのはカナダでの就労経験ができたからこそだと思います。

また、TA に関しても、学外や学内で働く貴重な体験ができただけでなく、何よりヘルプをしていた教授は私が一年生の頃からお世話になっていた方で、応募者が多い中、教授補助という責任あるポジションを任せ、彼女からの信頼を感じることができ、本当に嬉しかったです。また、私は他の候補者と違って英語はネイティブではないですが、それをわかっていながら教授が私の TA としての知識を公平に判断した結果だと思うと本当に嬉しかったです。また、他の TA の学生達を含む少人数での作業が多かった為、他の TA や教授と以前より更に親しくなることができました。自分の課題やインターンで忙しい中、ワークショップをプランニングからリードまで任せ、それに加えて TA の課題でしたので本当に大変でしたが、責任のある仕事

を任されているんだという使命感、そして自分を信頼してくれている教授の期待に応えたいという気持ちでやりきることができました。自身の課題やインターン、TA をやり終え、冬学期が無事終わった後、教授がみんなにありがとうご飯に連れて行ってくれました。確かに大変な仕事ではありましたが、教授からの差し入れのピザを食べながら採点したり、噂話で盛り上がりたりととても楽しかったです。大学生活の最後にインターンや TA などの経験ができ本当にいい思い出になりました。

学業の面でも、冬学期に取った社会学のセミナーでのファイナルリサーチペーパーが社会学部のライティングアワードで表彰され、表彰状と記念品を頂きました。卒業式の前に行われた表彰式には、日本から駆けつけてくれた母も参加してくれ、いつも離れて応援してくれた母に私の大学での功績を見せることができよかったです。冬学期に取ったセミナーの教授は学部長で彼女の授業はいくつか履修したことがあるのですが、授業の終わりに話をしに行った時や表彰式でも私のエッセイがいつもとてもよくリサーチして書けており、学部の教授達の中でも噂になっていると褒めて頂きました。正直、賞をもらった事も嬉しかったのですが、一年生から頑張ってきた姿を影で見えてくれた人たちがいたんだということが何より嬉しくて、そしてそれをこういう形で母に見せることができたことで、今まで本当に頑張ってきてよかったと心から思いました。

留学生活を終えて、本当にこの四年間は私にとって特別な四年間であり、楽しいことも辛いこともいろいろ経験し、そしてそれを全部乗り越えて、英語力だけでなく、考え方や価値観等、色々な意味で自分でもびっくりするくらい成長した充実した四年間だったと心から思います。これから社会に出ているんなことがあると思っています。しんどいことや壁にぶち当たった時に、大学の経験や辛かったことを思い出し、今までどんな高い壁も乗り越えてきたことを思えば何でも乗り越えていけると思います。最後に、このおおさかグローバル奨学金にとっても感謝しています。本当にありがとうございました。